

花見地区で津波避難訓練



要援護者を担架で運びながら避難する住民

11月5日の津波防災の日を前に、花見地区(花見1区・花見4区)で4日、津波を想定した大規模な避難訓練がありました。福津市・福岡県・花見地区自主防災会が合同で実施しました。協力機関は、宗像警察署、宗像地区消防本部、福津市消防団、福岡管区気象台です。

対馬海峡の断層を震源とする大地震が発生し、1時間40分後に3メートルの津波が到達するとの想定です。

午前9時に、「大津波警報」が発令されると、地元の消防団員が地域を消防車で巡回しながら、避難を呼び掛けました。

住民はあらかじめ設定された一時避難場所に集まった後、身体の不自由な人を車いすや担架、リヤカーに乗せて、高台にある福岡中学校に避難しました。

訓練後、小山市長は「約1300人が避難に参加したのは、この地域が住民同士の絆があり、日ごろから自治会活動が頻繁に行われていたからだだと思います。いくつかの小さな反省点はあるかもしれませんが、やればできるという自信につながったと思います」とあいさつ。

小川県知事は「県としても今回の訓練の結果を十分に検証し、課題を見つけ、必要な対策の検討を進め、防災計画の実効性を上げていきたい」と述べました。



身体の不自由な人を車いすに載せて避難する住民



小川県知事・小山市長・阿部県議も避難訓練に参加



大きな声で避難を呼び掛ける住民



ぞくぞくと福岡中学校に集まる住民



地域をよく知る消防団員が活躍



各班長が、避難者の人数を報告



避難者の人数を確認する消防団員



放水訓練も実施



消火器の使い方を指導する市消防団女性消防班



消防団の消防車で避難を呼びかける



正確な状況を把握するため無線で連絡を取り合う宗像消防署員



避難者の人数を最終確認

訓練参加者 1461人(内訳：花見総区住民 1306人、市消防団など協力機関155人)





福津市花見総区 地震・津波避難訓練

平成 24 年 11 月 4 日